

令和元年度

# 新潟県包装研究会

- 開催日時：令和元年12月6日(金) 13:00～16:10
- 会場：朱鷺<sup>とき</sup>メッセ(新潟コンベンションセンター) 302会議室(新潟市)
- 主催：公益社団法人日本包装技術協会(JPI)

当会では、会員サービスの一環として、年1回、新潟県にて包装研究会を開催しており、毎年地元の会員企業を中心に多くの方にお集まり頂き、好評頂いております。

本年度のプログラムでは、ロングライフ包装ラインの創出、食品産業におけるプラスチック資源循環に向けた取組についてご説明いただきます。どうぞこの機会に、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

## 講演プログラム

時間	13:00～14:30	テーマ：ロングライフ包装ラインの創出 講師：CKD株式会社 市場開発部 東日本エリアグループ 米澤 裕基 氏 東洋製罐グループホールディングス株式会社 総合研究所 第一研究室 駒形 大樹 氏
講演内容	『窒素充填によるロングライフ化』 CKD株式会社 食品の賞味期限切れや鮮度劣化から発生するフードロスが社会問題となるなか、ロングライフに欠かせない窒素ガス置換包装の拡がりが増えています。窒素供給は、ガスボンベ、液体窒素や大型の窒素ガス精製装置などが使われます。この度、ロングライフ包装ライン構築に新たな窒素ガス供給方式を提案いたします。より手軽でクリーンに、簡単に窒素ガスを使用できる精製方法や特徴を実際の導入事例を紹介いたします。また実機を持ち込み、手軽さを体感いただけます。	
講演内容	『酸素吸収性包材によるロングライフ化』 東洋製罐グループホールディングス株式会社 当社では包材自身に酸素吸収機能を持たせた新しい機能性包材『OXYDEC®』を開発しました。OXYDECは包材内を脱酸素することで酸化劣化やカビの発生を抑制、食品のロングライフ化を可能にします。さらに従来の脱酸素剤封入包装と比べて包装廃棄物を削減できることに加え、誤飲誤食などのトラブルの解消にも繋がります。OXYDECの特徴や機能について、実際の採用事例と併せてご紹介いたします。	
時間	14:40～16:10	テーマ：食品産業におけるプラスチック資源循環に向けた取組 講師：農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長 野島 昌浩 氏
講演内容	近年、国内外で海洋プラスチックごみが問題となるなど、プラスチック資源循環のあり方が注目されています。このような中で、食品容器包装をはじめ、消費者に極めて身近なプラスチック製品を利活用している食品産業においても、その対策に取り組んでいく必要があります。今回のセミナーにおいては、我が国におけるプラスチックの現状、「海洋プラスチック対策アクションプラン」や「プラスチック資源循環戦略」といった政府としての対応を踏まえつつ、食品産業における企業や団体における取組を紹介し、今後の容器包装を考える端緒とします。	

## 開催要領

- 日時：令和元年12月6日(金) 13:00～16:10
- 会場：朱鷺(とき)メッセ  
新潟コンベンションセンター3F 302会議室  
新潟市中央区万代島6-1(案内図参照)
- 参加料：公益社団法人日本包装技術協会の会員の方：無料  
一般社団法人新潟県食品産業協会の会員の方：無料  
一般の方：一講演につき3,300円(税込)
- 定員：80名

お断りする場合のみご連絡します。  
当方より連絡がない場合は直接会場にご来場下さい。



## 令和元年度新潟県包装研究会の参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。

お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、参加登録を頂きたくお願い申し上げます。

URL:<http://www.jpi.or.jp/index.html>

### 【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「令和元年度新潟県包装研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

お問合せ先

公益社団法人日本包装技術協会 新潟県包装研究会係 担当:佐藤

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F TEL.03-3543-1189・FAX. 03-3543-8970 e-mail:satou@jpi.or.jp